



野底 愛さん

シングルマザーで同じ境遇の人たちを元気づけたいという思いで走りました



千勝 典子さん

医師として、これまで多くの人に支えられてきたので感謝を込めて走りました



大越 友博さん

待ちに待った聖火リレー。頑張れば何でも達成できるという気持ちで走りました



富村 由喜子さん

とても爽快で楽しかった。応援でたくさんのパワーをもらえました



みつもんさん

聖火ランナーとして走れることに感謝して、自分らしく走り切りました



西岡 勇一郎さん

聖火ランナーとしてオリンピックに携わる事ができてうれしかったです



トシちゃんさん

短い時間だったけれど、人と人とのつながりが感じられた貴重な思い出でした



藤木 慎介さん

沿道からの温かい応援のおかげで、とても気持ちよく走り切ることができました



クレイグ コールマンさん

オリンピックを通して、世の中が明るくなってほしいという思いで走りました

市内を駆け巡った聖火ランナーたち

聖火に込められたみんなの想いと共に



古河市出身 空手女子組手61キロ級 染谷選手オリンピック出場

お疲れ様でした!

染谷真有美選手からのコメント

大会では温かいご声援を本当にありがとうございました。古河市の皆さまに、勝ち上がる姿を見て欲しかったので力不足で悔しいです。メダル獲得の夢はかないませんでした。姉と共にオリンピックを目指してきた道のりは最高の経験となりました。

11月に行われる世界大会での姉妹優勝を目指し、新たな目標に向かって精進してまいります。

コロナ禍での大会延期や代表再選考など、オリンピックの舞台に立つまでは非常に困難な道のりでしたが、予選ラウンド2戦目ではフランス代表選手と対戦し、得意の突き技を決めオリンピック初勝利。練習の成果が発揮された瞬間でした。既に次の目標を見据え、新たな一歩を踏み出した染谷選手。これからの更なる活躍を応援しています。

東京2020オリンピック空手女子組手61キロ級に古河市出身の染谷真有美選手が出場しました。8月6日に行われた試合では、準決勝進出はかなわなかったものの、最後まで諦めない気迫のある戦いで、多くの人に勇気と感動を与えてくれました。



▲男子形でアリエル・トーレスグディエレス選手(左から2番目)が銅メダルを獲得しました

東京2020オリンピック空手競技に出場したアメリカ合衆国の代表チームが、7月26日～8月1日の7日間、古河市で事前キャンプを実施。市内小中学校の児童・生徒が手作りのぼり旗やポスターが寄せられたほか、晃陽学園からは選手やスタッフへの食事が提供されました。選手やコーチからは「皆さんの温かいおもてなしやおいしい食事のおかげで、大会本番に向けて最高の1週間を過ごすことができた」などの感想が聞かれました。

アメリカ空手競技の選手が古河市で事前キャンプ



①予選ラウンドでベネズエラの選手と対戦する染谷選手②幼い頃から苦業を共にしてきた兄・隆嘉さん(左)と姉・香予さん(右)③大会に向けてサポートしてくれた樋口コーチ(左から2番目)、隆嘉さん、香予さんと